

事業所における自己評価結果

事業所名 ことばの森annex

2024年7月31日 公表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		十分なスペースを確保し、運用しています
	②	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		指定基準を満たし、加配の職員も配置した体制となっています
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		利用者に合わせた合理的配慮を工夫しています 玄関入口や施設内に階段がありますが、手すりの設置、階段幅の確保等、東京都のバリアフリー条例の条件を満たしています
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>		日頃から衛生管理を徹底し、清潔で心地よく過ごせる環境を整えています
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	定期的にミーティングを実施していきます
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		今期が開所後初めての自己評価となります 今後ミーティングを実施し、ご意見や改善点等について検討していきます
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		当事業所ホームページにて公表しています
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>	第三者による外部評価は行っていません
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		<input type="radio"/>	令和6年度は夏以降研修の参加を予定しています 職員のスキルアップのため支援方法や安全確認、虐待防止等の研修を定期的に行っています
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	<input type="radio"/>		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	<input type="radio"/>		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている		<input type="radio"/>	個別支援のため、チームで立案はしていませんが、ケース検討などを通して、教材や指導内容の相談等適宜行っています
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		固定化しないよう、職員全員がお子さま一人ひとりの特性や気持ち・興味に合わせて、取り組める内容となるよう、日頃から試行錯誤し、追及しています
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している		<input type="radio"/>	個別支援のみのため、組み合わせでの計画は作成していません
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		毎朝朝礼を行い、一日のスケジュール等確認しています
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		<input type="radio"/>	終礼は行っていないため、今後導入を検討します
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		
⑲	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>			
関係機関	⑲	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>		
	⑲	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	<input type="radio"/>	1 / 2 ページ	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
や保護者との連携関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて適宜行っています
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	児童発達支援のためのため、実績はありません
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	必要に応じて適宜行っています
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	利用者の多くは保育園や幼稚園に通園中のため、事業所としての活動機会は設けていません
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	今後機会がありましたら、参加していきます
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎回の支援終了後に、保護者様へフィードバックの時間を設けています
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている		○	プログラムという形では実施していませんが、支援終了後の保護者様へフィードバック時や相談をお受けした際に、特性を踏まえた関わり方等を必要に応じて行っています
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		運営規程、利用者負担等について、契約時に丁寧に説明するとともに事業所内に重要書類を閲覧できるように設置しています
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		あねっくす通信やホームページ、LINE等を利用し、情報を発信しています
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報が記載された書類は鍵付きキャビネットに保管、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定する等、適切な対応を行っています
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	今後、参加等検討していきます
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルを策定し、研修を実施しています
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		マニュアルを策定し、定期的に避難訓練を実施しています
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に確認しています
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時に確認しています * 食事の提供はありません
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット事例が起きた場合は朝礼等での報告と記録を義務付けています また記録は常時職員が閲覧できるようにしています
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		自治体などで行われる研修や社内研修などを定期的に行っています
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		該当者はおられません。マニュアルを策定し、研修等を行っています